

秋の交流会 ネオ・エポック俳句のように自由な発想で詠む。お題は「鏡」 無記名で2句まで投句可

#### 選者の作品

映らない 真実さかさま 反射して  
合せれば 心も無限 映り合う

#### 顧問の作品

鏡見て 我が越し方を 思う秋

#### 優秀5作品

水鏡 業（カルマ）を模して 乱反射  
虚飾脱ぐ 割れた鏡を 裏むけて  
時津風 瞳をこらし つかみとる  
老いてなお 鏡の奥に 美を探す  
月は見る 湖面に映る 我がすがた

#### 佳作5作品

好き嫌い 鏡の奥で 叫ぶ女  
何が出るか 合わせ鏡の 奥の闇  
ゆだんすな 老いたすがたが ウィンドー  
鳶の舞う 湖面はミラー われは風  
見たくない 鏡のむこうに 我のしわ

#### 以下、全部掲載します。

手鏡を かざし紅葉の 櫛をさす  
除夜の鐘 曇る鏡に 傷ひとつ  
鏡の国に ふと行けそうな 今朝の霧  
たてながに うつる姿に 秋を知る  
高瀬の川に 手鏡み 投げ砕く  
トルコ石 婚礼嫁にと ついおくる  
一葉忌 鏡に映らぬ 影ひとつ  
若き記者 オフレコ談義 夢かたる  
文化の日 ゆれるミラーよ 取材くる  
手のひらの 鏡をひらいて 木の実落つ

#### 講評 すみくらまりこ

お題を出して、回収するまで一時間。そんな短い時間に、こんな豊かな作品が提出されました。ごらんのように、自由な発想で俳句を誰でもが楽しめるようにと企画しました。

俳句を専門とする方もありましたが、ほとんどが詩人ですので、俳句から想起できる風景は美しいものであったり、心理的であったり、自分を見つめるものであったり様々です。優秀作品には、心が17文字に乗り移り、俳句自身がエネルギーを保持するような作品がありました。また鏡に映る己が姿に美醜を見るというもの（これも何句が似ているものがありました）しかし美を探すという突き詰めて踏み込んだ表現が秀逸でした。月が湖を鏡に自分を見るという壮大な擬人法にユーモアと視点の面白さを見ました。惜しくも選外となりました句もごらんのように鏡の国、一葉忌、ゆれるミラーなど優れた発想に心が打たれました。